

学籍番号：

名前：

1. 次の各説明文は、それぞれ、1箇所間違っている。間違いの箇所にアンダーラインをひき、正しい記述をその下に示せ。

コンクリートのスランプは低下することがある。例えば、運搬時間が長いほど、気温が低いほど、スランプ低下が著しい。

W/Cは水セメント比を意味し、その逆数はセメント水比である。水セメント比が大きいほど、圧縮強度が大きくなる。

空気量は、大略0.3～0.6%程度連行することが標準である。空気量が少ないと、十分なワーカビリティが得られない。

コンクリートの配合は、所要の施工性、力学的性能、耐久性を満足する範囲で、細骨材量をできるだけ少なくすることが肝要である。

セメントペーストに、細骨材と粗骨材を混ぜたものを、モルタルと呼ぶ。

コンクリートの示方配合では、細骨材率を s/a (重量比) で表し、粗骨材の寸法の単位は mm、スランプの単位 cm で表す。

フライアッシュ(混和材料)やAE剤(混和剤)の使用は、ワーカビリティの低下を招く。

粗骨材や細骨材の比重は、2.6～2.7程度であり、硬化したコンクリートの比重はこれより大きい。